

# ウオーキングの魅力語る

## 倉吉で。パネルディスカッション

14、15の両日、倉吉「ウオーキングリゾー市を舞台に行われる」トフェスタ2days

「鳥取県中部を学んで歩いて」(とっとりコンベンションビュロー

ン、NPO法人未来主催)のパネルディスカッションが14日、同市駄経寺町の倉吉未来中心で行われ、ウオーキングの魅力が紹介された。

カンオク理事長、済州オルレのソ・ミヨンスク理事長が登壇した。宮下会長は「安心して歩ける道を整備してほしい」と提案。また、自身が地域をピックアップしながら歩いていることを例に挙げ「鳥取県も絵を作って東郷池や、山や海とつなぎ合わせる」と素晴らしいウオーキングリゾートと言えるのでは」と提案した。

パネルディスカッションのテーマは「ウオーキングの未来」。全日本ノルディック・ウォーク連盟の宮下充正会長、石田耕太郎倉吉市長、西田直美倉吉幼稚園長、県中部医師会の松田隆会長、大韓ウオーキング連盟のイ・

イ理事長は「心ひとつに頑張ってウオーキングを通じたエンターテインメントをつくってほしい。ソフトウエアはいつでも送る」などエールを送った。

15日はウオーキングイベントが行われる。



ウオーキングについてさまざまな角度から意見を述べるパネリスト=14日、倉吉市駄経寺町の倉吉未来中心